

# みんなが主役

ゆめ半島千葉大会リハーサル大会



フットベースボール(北羽鳥多目的広場)

10月に行われる「第10回全国身障者スポーツ大会(ゆめ半島千葉大会)」に備えたりハーサル大会が5月30日、市内で開催されました。ソフトボール、グランドソフトボール、フットベースボールの3競技が行われ、会場となった大谷津運動公園野球場・多目的広場、成田北高校グラウンド、北羽鳥多目的広場では、選手たちによる熱戦が繰り広げられました。また、大会運営に携わった手話・要約筆記をはじめ多くのボランティアの人たちも大活躍でした。



グランドソフトボール(成田北高校グラウンド)



手話と要約筆記のボランティア(大谷津運動公園野球場)

## 市民憲章推進協議会感謝状贈呈式

### 長年の功績をたたえ

成田の輝かしい発展とお互いの幸せを願い、昭和46年11月3日に制定された市民憲章。その5カ条の理念に基づき、ボランティア活動・環境・福祉・教育などの分野で長年活動してきた5個人・2団体に5月28日、市民憲章推進協議会長から感謝状が贈呈されました。(敬称略)

- 横田武穂      ○新井正直      ○佐々木敬悦
- 山田政敏      ○石井一夫
- 玉造七丁目リサイクル実行委員会
- 幡谷喜楽会



市民憲章運動に貢献した皆さん

じぶんで打ったそばを食べよう

## 手作りはひと味違う!



上手に切れたでしょ

手作りそばのおいしさを実感してもらおうと6月5日、子ども館で「じぶんで打ったそばを食べよう」と題した催しが行われました。参加した14組の親子は、そば粉とつなぎの小麦粉に水を加え、こね、延ばし、切る、といった工程に共同作業で挑戦。適度な薄さに延ばしたり、均等な幅に

切り分けたりするのに苦労しながら完成させたそばを口にした参加者たちは、「歯ごたえがあっておいしい」「そば粉のいい香りがする」などと言葉を交わしながら、手作りの味を楽しんでいました。

生徒の夢をはぐくむ事業

## 国体出場選手の話に感動

9月に開催される「ゆめ半島千葉国体」に群馬県代表として出場する黒川春華選手と大久保美紗選手(ルネサスエレクトロニクス高崎・千葉県出身)を講師に招いて、成田中学校で6月10日、「生徒の夢をはぐくむ事業」が開催されました。女子ソフトボール界で活躍するアスリート2人が、自身の体験を踏まえて、夢を諦めないことの大切さについて話すと、生徒たちは熱心に聞き入っていました。講演後には、全校生徒の応援の中で、野球部と先生がバッティングに挑戦し、黒川投手の投げるボールの早さに驚きつつも、楽しんでいました。



バッティングに挑戦

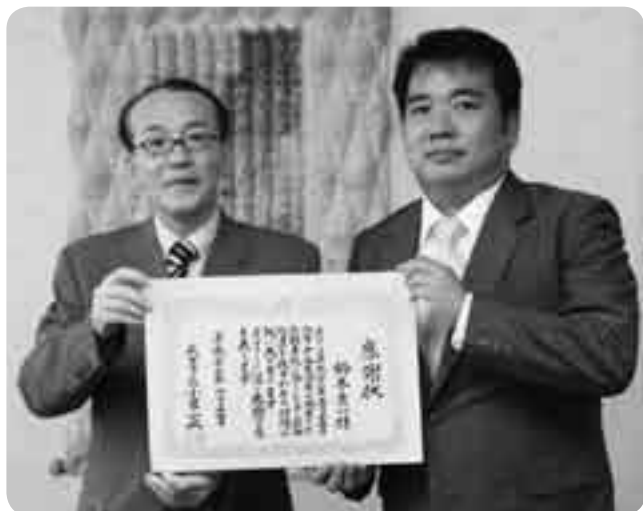


夢を諦めないでと語る黒川選手

市内の消防団員

## 海で溺れた男性を救助

旭市の海水浴場で5月15日に、海で溺れた男性を救助したとして6月14日、鈴木良一さん(滑川)に市から感謝状が贈られました。鈴木さんは消防団に所属。普通救命講習を受講し、心肺蘇生法の訓練を受けていました。「何とかして助けなければと思いました。訓練が役に立って良かった。本人から直接電話が掛かってきた時は、涙が出ました」と語っていました。



鈴木さん(右)の勇気ある行動に感謝状が贈られました

豊住ふれあいフェスティバル

## 歌や踊りで盛り上がる



チーバくんとうなりくんもステージに

豊住地区の子どもとお年寄りが一堂に会し、歌や踊りなどを楽しむ「豊住ふれあいフェスティバル」が6月5日、豊住小学校体育館で行われました。第1部は豊住小児童による歌や劇の発表、第2部は地域の皆さんによる芸能発表会。かわいい孫の元気な姿にお年寄りからは自然と笑みがこぼれ、また、芸能発表会ではそれぞれの十八番が披露され、会場は大いに盛り上がりました。